

えんくうさくもくぞうあいぜんみょうおうざぞう 円空作木造愛染明王座像

昭和46年3月16日 八潮市指定有形文化財（彫刻）

●八潮市大字南川崎 870 番地（専稱寺）

専稱寺の愛染明王像は、大経寺の千手観音像とともに市内に2体ある円空作の仏像である。

愛染明王は、愛欲煩惱を菩薩の心に変化させる力を持つ明王として、広く庶民の信仰を集めたが、「愛染」が「藍染」に音通するところから、染色業者の信仰も厚かった。

この像は一面六臂で頭上に獅子冠をいただき、右手に五鈷杵、左手に金剛鈴を持った忿怒像で、埼玉県内の円空仏としては珍しく、きめ細かなナタ彫りで彫刻されている。杉の丸材を2つ割りにした内側に、蓮台を含めた全身像を丸彫りにし、背面にはほとんど手を加えていないのは、県内のほかの円空仏にも共通して見られる手法である。像高は37.5センチ。両脇手を欠損するなどの一部破損が見られるが、数多い円空仏の中でも優品のひとつに挙げられよう。

この円空仏は、東北地方に残されているものに似ていることから、大経寺の千手観音像同様円空

初期の作品であると考えられる。専稱寺は日光街道が整備される以前の奥州路への古道に面していたため、円空が立ち寄り造像したものであろう。



◎公開の有無：非公開

◎その他の文化財：寛文9年弥陀庚申塔（常時公開）
木造聖観音菩薩立像（非公開）

◎交通案内

- ・八潮駅南口からバス（草加駅東口または上二丁目行）
「南川崎」下車徒歩2分



本図は電子地形図25000（国土地理院）を加工して作成したものです。